

一人ひとりが考えて行動できる「交通安全教室」にしよう

湖南省	活動名 : 石部小学校地域学校協働本部	石部小学校	学校運営協議会 : ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 20 年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:140人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 □郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

子どもたちが自ら考え、行動できるように、「安心・安全」の取組についてどう支援するか。
 子どもたちが「ふるさと石部」を意識できるように、地域の力をどう活用するか。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

ボランティアの方々が、共通理解のもと本活動に参加していただくため、事前に交通安全教室の実施内容について具体的な説明を聞いていただいた。

日頃、地域の方も子どもたちのことを見守ってくださることを子どもたちに意識させるため、地域の代表の方から、自転車点検の仕方について説明していただいた。

自転車での走行練習の際には、警察やボランティアの方々に交差点などの危険ポイントに立っていただいた。そして、その都度支援をしたり、交通安全教室終了後に子どもたちの安全について振り返ったりすることとした。



【 自転車点検の説明 】

■ 実施に当たっての工夫

昨年度は、ボランティアの方々の手をお借りして、子どもたちの自転車を 1 台ずつ点検していただいた。そこで今年度は、子どもたち自身が点検の仕方を身につけられるようにするため、自転車点検の説明を聞いた後、各自で点検をすることとした。

地域学校協働本部の方々のほかに、子ども安全リーダーの方や警察の方にも協力していただいた。子ども安全リーダーの方に助言をいただくこともできた。

■ 事業の成果

学校側から事前に説明をしてもらうことにより、ボランティアの方々が子どもたちにつけたい力を正しく認識して、各ポイントで助言をしていただくことができた。

自転車点検では、ボランティアの方から声をかけていただくことで、不安そうな子どもたちも安心して取り組むことができた。

子どもたちが実際の一般道を通る際、想定外の場面に遭遇することもあったが、どうすると安全かを考えて行動する姿が見られた。



【 横断歩道での練習 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

地域の方と一緒に取り組んだ「体育大会スローガン 垂れ幕作成！」

湖南省	活動名：石部南小学校地域学校協働本部	石部南小学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成21年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：175人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ☐ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ■学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他(児童会)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

「子どもと地域がひびきあう」をキャッチフレーズとし、「ふるさと意識の醸成」「子どもたちの自主性の育成」の取組として、6年生が中心となって、体育大会スローガン垂れ幕を地域の方と一緒に作成した。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

9月11日 地域ボランティアとの打ち合わせ
 9月20日 スローガン下絵 レイアウト
 9月24日 スローガン下絵描き
 9月27日 スローガン色付け
 10月9日 スローガン垂れ幕完成



【 事前打合せの様子 】

■ 実施に当たっての工夫

スローガン作成に必要な日数や、垂れ幕用の布、作成用絵の具等の準備物についての話し合いを行った。

子どもが地域ボランティアと電話連絡をとり、日程調整と事前打合せを行った。その際、電話連絡の仕方などを何回か練習した。スローガンのデザインを早い時期から考えていたため、地域ボランティアとデザインの話し合いをスムーズに行うことができた。子どもがいない時間帯にも地域ボランティアに来ていただき、下準備等を手伝っていただいた。

■ 事業の成果

- ・子どもたちが自主的に考えて行動することができた。
- ・地域ボランティアとの日程調整は、子ども自ら電話連絡をして調整をすることができた。
- ・地域ボランティアと日程が合わない時もあったが、子どもたちが話し合いをし、交代でスローガン作成に取り組むことができた。
- ・スローガン作成に向けて、子どもたちが取り組む気持ちをボランティアに伝え、ボランティアも作業するだけではなく、子どもの想いを大切に作成に取り組むことができた。
- ・子どもたちが作りたいと思ったものに、子どもと地域ボランティアが取り組むことができ、子どもの主体性を伸ばし自己肯定感を向上させることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・活動時間帯が平日の昼休みということもあり、地域ボランティアの参加が少なかった。
- ・他の行事が重なり、子どもと地域ボランティアが共に作業する日程調整が難しかった。
- ・デザインから完成までの工程を子どもに把握させる工夫が必要である。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

6月6日 児童会とCS理事との懇談会
 7月22日 夏休み子ども教室 1日目 25名参加
 7月25日 夏休み子ども教室 2日目 50名参加
 7月26日 夏休み子ども教室 3日目 58名参加
 7月29日 夏休み子ども教室 4日目 26名参加



【 完成したスローガン垂れ幕 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

みくもっ子を支援育む地域の見守り隊～地域のあたたかいまなざしに守られて～

湖南省	活動名：みくもっ子地域学校協働本部	三雲小学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：3人 ボランティア登録数：290人 ☒ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☐ 地域行事への参加 ☐ ボランティア・体験活動 ☐ 郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☒学校・園 ☒学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

・「らくらく勉強会」(放課後宿題教室)を昨年度に引き続き継続している。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・登下校の安全確保 【各地区スクールガード】
【通学ボランティア】登下校の見守り、同行
- ・教育環境の整備 【環境ボランティア】花壇植栽、草刈り、修繕等
【掃除ボランティア】掃除の仕方の指導、支援
【図書ボランティア】絵本の読み聞かせ、見守り
【昼休みの見守り】折り紙教室の開催
- ・学習、行事の支援 【家庭科：ミシン】ミシンの使い方の支援
【体育科：持久走記録会】危険箇所の立ち番、誘導
【クラブ活動】4つのクラブ活動において地域の方に講師依頼
クラブ活動の手伝い
【生活科：町探検】2年生生活科「町探検」の引率見守り
【交通安全教室】自転車を使った実地訓練の見守り
【算数科：九九検定】2年生算数科 九九の暗唱テスト



【草刈り応援団】

■ 実施に当たっての工夫

- ・独自の事業(折り紙教室等)は、学校と協議の上、開催を決定した。
- ・環境ボランティアの草刈り作業を早朝より開始するとともに、従来よりも作業時間を短くして、熱中症のリスクを軽減した。
- ・折り紙教室の開催時に参加人数が多く、密を避けるために学年毎に開催した。

■ 事業の成果

- ・上記のようなボランティア活動が、長期にわたり継続していることから、児童や教職員に浸透している。また、小学校で関わりを持ったボランティアが、引き続き中学校でも活動しているので、児童に寄り添い9年間の見守りができている。
- ・ボランティア活動が児童にも浸透しており、花植えのときには、多くの児童が自主的に参加する姿が見られた。



【九九検定】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域と学校が双方向に働く活動となるように、ボランティア代表者会や懇親会等の機会を持ち両者の願いを共有している。
- ・熱心な活動が児童の育ちに対して過干渉とならないように、助言を促すこともある。
- ・活動の発信に際して個人情報を守ることや、SNS等への投稿を控えてもらうことを、呼びかけている。
- ・紙面によるメンバー募集に頼らず、地域の中で活動の趣旨に賛同してくださる人材をネットワークから探している。
- ・地域ボランティアの活動内容を親子で知ってもらえるようなお知らせをしていきたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・地域協働活動推進員が、学校運営協議会委員として参画している。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☒校長 ☒教頭 ☐地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(地域学校協働推進員)

学習で地域とつながりを深めるきっかけ作り

湖南省	活動名:三雲東小学校地域学校協働本部	三雲東小学校 学校運営協議会 : ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成23年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:110人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 □郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・甲西中学校区小・中9年間をとおして関わる(見守る)地域を目指す。
- ・小・中9年間をとおして自分で考える力のある子に育てる。
- ・主体性を育む教育について正しい認識を保護者に啓蒙していく。
- ・子どもの居場所づくり、学力補充。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

2年生 まちたんけん(お仕事インタビュー)

■ 実施に当たっての工夫

- ・担当教員・児童の要望に合う訪問先を探す。
- ・訪問日時、内容を担当教員と打合せ、訪問先との連絡調整をする。
- ・訪問先の方の思いも聞き、インタビュー内容は事前にお伝えし、準備期間をもてるようにした。
- ・保護者ボランティアを募り、校外学習の引率補助と安全面での見守りをお願いした。

■ 事業の成果

毎年、2年生は春と秋の2回、まちたんけんを実施する。秋は地域の方へお仕事インタビューに出かける。例年、お店や事業所中心だったが、児童からの「農家のことが知りたい。」という一言をきっかけに、今年は訪問先を新たに開拓した。事前に質問内容をお知らせしたことで、児童にわかりやすい言葉で答えていただくなど、気持ちに余裕をもって対応していただくことができた。訪問先のみなさんの中には、登下校の見守りボランティア、卒業生の保護者も多く、実は日頃からよく見かける人で、インタビューを通して、児童と地域のつながりが、より身近になる活動となった。児童と話をするのはとても楽しく、経験になったと感想をいただいた。ボランティアに参加した保護者にも、児童と一緒に、地域のことを知ってもらう活動になった。



【 農業用機械見学 】



【 いちご農家の見学 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ボランティア通信で活動内容を保護者・地域に発信し、知っていただくとともに、協働できる取組を考えていきたい。
- ・後継者(地域学校協働活動推進員)の発掘が課題である。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

ボランティア活動を「三雲東小学校ボランティア通信」として発行し、周知した。(ホームページにも掲載)

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 □地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

子どもをお客さんにしないを合言葉に ～どの子も輝ける場を保障する～

湖南省	活動名:岩根小学校地域学校協働本部 (根っこ応援団)	岩根小学校 学校運営協議会 : ☒有 ☐無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 20 年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:220 人 ☒学習支援(授業補助、学力補充等) ☒図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒学校行事支援 ☒子どもの安全確保、見守り ☐部活動支援 ☒学校周辺環境整備 ☒学びによるまちづくり ☒地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☒地域行事への参加 ☐ボランティア・体験活動 ☒郷土学習 ☐その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行政 ■その他(まちづくり協議会)

■ 学校運営協議会で熟議された内容

岩根小学校創立150周年記念事業をどのようなものにしていくか、CSはそれをどのようにサポートしていくか等について熟議を行った。「子どもが主役」「モノよりも心に残る記念事業」を目指すということを共通理解し、創立150周年記念事業実行委員会と学校運営協議会が連動しながら準備・運営を担った。

■ 地域と学校が協働した活動(創立150周年記念行事)

「災害からの学校の復旧を地域の力で行った岩根の歴史をミュージカルにしたい」という子どもたちの願いから、5・6年生が記念ミュージカル「1日だけの転校生」に挑戦することとなった。衣装づくりなど、CS 理事やボランティアが準備の段階からサポートを行った。また、1～4年生もふるさと岩根に関わる発表をしたが、CS 理事やボランティアが支えてきた地域での活動を取り上げている内容もあった。

司会進行や発表は子どもたちが行い、受付、駐車場、会場係等を CS 理事会が担当した。互いに連携し実施することでスムーズに進行することができた。



【 創立記念ミュージカル 】

■ 実施に当たっての工夫

子どもたちの思いや活動の趣旨が学校運営協議会に正確に伝わるよう、特活担当の教員が会議に加わり、話し合いを進めた。子どもが主体的に行動することを意識してサポートすることとした。

■ 事業の成果

全ての子どもがどこかの場で活躍でき、生き生きとした表情を見せていた。CS 理事からの提案で、地域や保護者の皆さんから子どもたちにメッセージカードを書いていただいた。子どもたちのがんばりをたたえるメッセージを読んで、子どもたちはさらに大きな喜びや達成感を感じたようだ。

また、地域にも「子どもたちのふるさと岩根への思い」や「地域が支えてきた岩根の歴史」を発信することができた。本校は、今まで災害による危機が二度あり、その度、地域が支えてくださっている。その地域の良さを引き継ぐ意味でも、有意義な実践となった。



【 地域・保護者からのメッセージ 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

学校と地域がつながる活動は実施できているが、関わってくださる方の高齢化が課題である。子育て世代や壮年層の方とのつながりは弱い。若い世代の方にどのように主旨を理解していただき、働きながらも関わりができる工夫が必要と感じている。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

学校ホームページ：コミュニティ・スクールの活動を参照



■協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☐ 校長
 ☐ 教頭
 ☒ 地域連携担当教職員
 ☐ その他()

報告書記入者（校長）

子どもたちのできる力を支える地域と「菩っこを育てる会」

湖南省	活動名：菩提寺小学校地域学校協働本部 (菩っこを育てる会)	菩提寺小学校 学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成22年度 地域学校協働活動推進員等数：3人(兼務2人) ボランティア登録数：200人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 □地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・子どもとの関わり方
- ・学校行事の関わり方
- ・学校の様子を熟知できるように意見交換

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

畑の先生(地域の方)の指導の下、全学年で畑の学習を行った。初冬に収穫した大根は、持久走大会時に4年生が、保護者や地域の方に販売する活動を実施した。その際に、地域の方のサポートをいただきスムーズに活動することができた。

大会中、駐車場では、ボランティアさんが車の誘導を熱心してくださった。



【 元気な声で「ありがとうございます。」 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・各活動、事業に対し必要とする支援は、担当教職員・担任と地域学校協働活動推進員の間でスムーズな情報交換を行い、対応できるようになった。
- ・ボランティアを募集する際、核となる地域の団体の代表にボランティア登録をお願いした。
- ・メールでのボランティア募集配信は、今年度も引き続き行っている。

■ 事業の成果

- ・先生方とのスムーズな情報交換によって、ボランティアが必要な時に直ぐに対応ができるようになった。
- ・核となる団体の代表を通して、多くの人がボランティアに参加して下さるようになった。
- ・メール配信することにより、参加の有無にかかわらず活動を知ってもらうことができた。
- ・ホームページに「菩っこ便り」(ボランティアの活動報告)を載せることにより、多くの人に知ってもらうことができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・保護者の認知度がなかなか上がらないように思う。知ってもらうための方法を改めて考えていかないといけないと思う。
- ・ボランティアと教職員との交流報告会を年に一度実施している。お互いの情報を共有しあう場づくりになっている。



【 大根の袋には手書きのメッセージ 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 □地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

菩提寺北小学校 あすなろ創立 30 周年記念事業 開催

湖南省	活動名：菩提寺北小学校地域学校協働本部 あすなろ応援団活動	菩提寺北小学校 学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 21 年度 地域学校協働活動推進員等数：2 人 ボランティア登録数：50 人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他[あすなろ30周年記念事業・CS 主催の運動会]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 ■その他(あすなろボランティア)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

2024 年、今年度は小学校創立 30 周年を迎える年となり、11 月に周年事業を開催する予定で、2 年前から CS・あすなろ応援団活動を含む周年事業実行委員会を立ち上げ、学校・地域・保護者(PTA)との連携のもと準備を行った。そのため、毎年開催される、「あすなろカーニバル」は周年事業に含め、単独での開催は取りやめた。そして、第1部・第2部は大人が進行するのではなく、子どもたちを主体に子どもたちの司会進行のもとオープニング 本校卒業生のサクソ奏者の演奏から始まり、開校当時から歌い継がれている「音楽物語 広野物語」を全校児童で披露した。第3部では学校のキャラクター「あすなろちゃん」のトートバック作り「あすなろの木」作成をおこなった。

周年事業の開催意義・趣旨を再度共通理解したうえで安全に開催するために企画・体制・ボランティア依頼など細部に至るまで繰り返し話し合いを行った。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

図書ボランティア	図書室の季節の飾り・朝の読み聞かせ・お話し
ちくちくボランティア	家庭科学習補助・カーテン補修
守りボランティア	まち探検や郊外学習の引率・見守り
クラブボランティア	クラブ活動指導補助
花と緑のボランティア	学校の花や畑のお世話・子どもたちへの指導補助

CS 主催運動会 5月 25 日開催
あすなろ 30 周年記念事業 11 月 9 日開催



【 あすなろの木 作成 】

■ 実施に当たっての工夫

周年事業は子どもたちの司会進行のもと、オープニングから音楽でつづる式典にした。
CS 主催の運動会は玉入れを行い、全学年を色別チームに分けて総当たりにして競った。

■ 事業の成果

30 周年記念事業で「感動して涙が出ました」という感想をたくさんの方からもらえ「音楽物語 広野物語」をととして子どもたちのお祝いの気持ち・感謝の気持ち・喜びの気持ちがその姿に現れていたと思う。会場がこの上ない幸せな空間に包まれ、たくさんのお客様、保護者様にお越しいただけて良かった。これを機に、再び地域のつながりをしっかり手を携えて地域の子どものために進んでいけると思う。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

来年度はまた「あすなろカーニバル」を軸にさらに学校・地域・保護者(PTA)との連携が必要になってくるので、初心に帰り、関わる人だれもがやらされる感なく笑顔で前向きに取り組めたら良いと考える。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

学校運営協議会理事は学校行事において学校教職員と一緒に運営に関わっている。



【 あすなろちゃんトートバック 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(教務関係職員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

学校運営協議会との連携 ～下田小創立 150 周年記念事業を通じて～

湖南省	活動名：下田小学校地域学校協働本部	下田小学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 23 年度 地域学校協働活動推進員等数：3人(兼務2人) ボランティア登録数：100人 ☒ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☒ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☐ 地域行事への参加 ☐ ボランティア・体験活動 ☒ 郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☐学校・園 ☒学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

下田小学校が2024年3月に創立150周年を迎えたこともあり、学校運営協議会でも記念事業について話し合いを進めた。
 11月に実施予定の記念式典については、式典の内容だけでなく、理事や委員の役割分担や、ボランティアの方々にお手伝いいただく内容や PTA 役員との連携などについても話し合った。式典以外にも「大成の庭」や「ふるさと学習室」の整備や、20年前(130周年時)に埋められた「タイムカプセル」の引き渡しについてなどの話し合いを進めた。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

『下田小学校 150 周年記念式典』

- ・下田の今昔写真展(下田小学校年表、歴代校長、歴代 PTA 会長の掲示)
- ・6年生有志による「南中ソーラン」演舞
- ・甲西吹奏楽団ジュニアバンドによる演奏
- ・卒業生でもある、滋賀住みます芸人「ノーサイン」によるステージ
- ・卒業生「山中慎介」氏と「ノーサイン」、児童代表によるトークショー
- ・タイムカプセル引き渡し会



【 式典ステージ 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・記念式典を実施するにあたり、地域の方々にも参加していただきたいと考え、観覧だけではなく、写真展の資料の提供や会場案内ボランティアなどで関わっていただいた。
- ・6年生有志に協力いただくために6年生担任と連携することはもちろん、教職員全体と学校運営協議会、各委員会が協力、連携して活動した。
- ・PTA 役員にも協力いただき、式典当日の会場セッティングや受付を担当していただいた。
- ・たくさんの方に観覧参加していただけるよう、自治会にも協力いただき、チラシの配布や掲示板へのポスターの掲示を行った。



【 写真展 展示 】

■ 事業の成果

- ・地域の方々に様々なご協力をいただいたことで、児童だけでなく下田小学校に関わる人たちが「下田小学校は地域に根ざした学校である」と再認識できた。
- ・PTA と連携して活動をしたことで、学校運営協議会だけでなく、PTA も学校運営に関わる組織であると考えることができた。
- ・大勢の地域の方々が観覧に来てくださったのは、各自治会の方々の協力によるものであり、学校運営にあたり、地域との連携は欠かせないものであると感じることができた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・150 周年記念事業を実施するにあたり、以前の周年事業の資料が手元になく(タイムカプセルに入っていた)、各家庭に残されていたリーフレットや他校の記念事業を参考に無事活動を進めることができたが、今後の周年事業において同じことが起こらないように、資料の整理と管理が必要である。
- ・どの事業にも言えることであるが、「報告・連絡・相談」が行われていないと活動を進めることができないので、今後も学校運営協議会と地域学校協働活動推進員、教職員が適切なコミュニケーションが取れる関係であるように努力を続けていく必要がある。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☒校長 ☒教頭 ☒地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

湖南省	活動名 : 水戸小学校地域学校協働本部	水戸小学校	学校運営協議会 : ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成22年度 地域学校協働活動推進員等数:2人(兼務2人) ボランティア登録数:70人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 ■その他(まち協、自治会)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・学校づくり委員会、ふるさとづくり委員会の活動
- ・地域との連携
- ・学校アンケートの内容について
- ・CSのPR方法
- ・田んぼの子学習について
- ・まちづくりフェスタへの参加
- ・子どもの居場所づくり「みとっこ広場」について

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・交通安全教室
- ・5年生田んぼの子学習、環境学習
- ・3年生水戸のヒーローインタビュー
- ・2年生まちたんけん
- ・外国にルーツのある児童交流会

■ 実施に当たった工夫

活動の目的、子どもにつけたい力を共有することで地域の方が子どもと接しやすくなり「学校に来てよかった、水戸の子かわいいな」と思ってもらえるように取り組んだ。

また、子どもたちにもいろいろな活動をとおして地域の方と接することで自分を見てくれている、応援してくれていると安心できたり、大人の活動を見て「自分も何かやってみよう、できるかも」と思えたりするように地域の方が活躍できる場を提供した。

■ 事業の成果

市制20周年の取組で子どもたちが学校、保護者、地域にアンケートをとり「水戸のよいところ」を調査。水戸にはきれいで安全な公園がたくさんあり地域の方が管理をしてくれていることや、地域の方がやさしいということを子どもたちが発表していた。環境学習ではポイ捨て禁止のポスターを地域のお店や市民学習交流センターに貼りに行き、自治会の清掃活動、まちづくりフェスタなど地域の一員として自主的に参加する姿があった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・5年生の田んぼの子学習でお借りしている田んぼが次年度利用できるか、地域の資源や人材を発掘するためにもまちづくり協議会や自治会などとの連携がさらに必要。
- ・ボランティアの高齢化で新たなボランティアの発掘も課題。
- ・CS理事会で協議した学校アンケートで「自分のことが好きだ」という項目があり地域の方が子どもたちに寄り添い、丸ごと受け止めてくれていることが「自分が大切にされている」と感じる体験であることを地域の方にも発信しながら引き続き取り組んでいく。

・学校に行きづらい子や保護者のお悩みを聞く場所が必要と今年度は家庭教育支援基盤構築事業の取組を始め、地域の社会福祉作業所をお借りして、放課後の居場所みとっこ広場を月に一回開催している。次年度は、まちづくり協議会とも協力して地域の中の居場所として定着させていきたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

今年度は子ども安全リーダーからの提案で連絡会に参加。登下校の見守りだけでなく、大雨の時の危険な箇所や子どもたちの放課後の様子、自転車の乗り方について知らせていただき学校だけではわからないことを共有できた。また、地域学校協働活動リーダーが、子どもたちと顔見知りになるために学校での様々な活動に協力したいと申し出てくださった。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他()



【 子ども安全リーダー連絡会 】



【 みとっこ広場 】

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

学校に地域の力を、地域に生徒の活力を！

湖南省	活動名:石部中学校地域学校協働本部 (ぜんりよく地域学校協働本部)	石部中学校 学校運営協議会 : ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに ☒ 印 開始年度:平成 26 年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:77人 ☒ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☐ 学校行事支援 ☐ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☒ 地域行事への参加 ☒ ボランティア・体験活動 ☐ 郷土学習 ☒ その他[入学試験面接指導等]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに☒印)

☒学校・園 ☒学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

学校の課題や情報など共有、目標やビジョンなどを踏まえ、それぞれの立場からできることを考え、実行した。その中で、多くの地域の方たちに支援をお願いし、生徒は地域の一員として、自主的・主体的に地域に出て、中学生の力を発揮していくことを重視していくことを決定した。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

3年生の受検(験)に向けた面接練習に地域の方が来校、面接官になり支援していただいた。地域の方との練習前に、学活で面接練習の VTR を視聴、生徒自身でも何度も練習を行い、その後、3年担当教員や管理職との面接練習に取り組んだ。初対面の方との練習にも緊張感や雰囲気を感じながら事前準備と心構えができた。



【 3年生面接練習 】

■ 実施に当たっての工夫

支援いただくボランティアの方には、これまで実際に行われた受検(験)での質問や生徒が練習している質問例を配付し、その内容で質問をしていただいている。個人面談、集団面談と個に応じた体制で行い、アドバイスをいただき自信をもって受検(験)に臨んでいる。

練習日に生徒の受検(験)校等をお知らせするが、個人情報のため回収する。

■ 事業の成果

アドバイス等がとても的確でわかりやすかったです。緊張していましたが、優しく声をかけてくださり、リラックスでき話すことができました。(生徒感想)

「面識のない人との面接」という形式での練習のおかげで、本番も緊張しすぎず臨むことができました。(生徒感想)

良かった点を褒めていただき、悪かった部分はどこがダメなのかわかりやすく教えてください、本番に活かすことができました。(生徒感想)

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域の方から多くの情報を集め、新たな地域人材を見つけていきたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

<https://ishibe-jp.konan.andtercher.jp/>



【 3年生面接練習 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに☒印)

☒校長 ☒教頭 ☒地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)

Chance (チャンス)・Challenge (チャレンジ)・Change (チェンジ) ～地域とともに進める生徒の自主的な活動の場づくり～

湖南省	活動名： 甲西中学校地域学校協働本部	甲西中学校 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 28 年度 地域学校協働活動推進員等数：3人(兼務3人) ボランティア登録数：40 人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ☐ 子どもの安全確保、見守り ☐ 部活動支援 ☐ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ☐ ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ☐ その他[]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ☐学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・地域学校協働活動の内容を地域の方々にもっと知ってもらうための PR の方法
→学校評価の項目に入れる。また、PR 用広報紙を発行する。
- ・授業参観、行事参観をし、小中学生の活動を知り、できることを考える。
- ・地域の行事で小中学生が活躍できる場を作り、自分たちで主体的に動かす経験をさせることを計画。



【 ふるさと再発見 発表 】

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・図書室整備 ……図書室の環境整備と本の帯コンテストの制作補助
- ・書写の授業支援 ……お手本準備や個別指導。全学年対象で書写講師 3 名
- ・家庭科の授業支援 ……1 年生の家庭科支援。5 名で活動
- ・スモールティーチャー…小学生の夏休みの勉強会を中学生が支援する活動(異年齢交流)
- ・読み語り ……朝読書の 10 分間で読み語りをを行う。1、2 年生が対象。5 名で活動
- ・ふるさと再発見 ……ふるさと湖南省の魅力を見直すフィールドワーク。地域の方に協力をお願いに行った。
- ・キャリア教育の講演 ……「働くこととは」「学習の仕方」などの講演。1 学期に 1、3 年生、2、3 学期に 2 年生対象に行った。
- ・ボランティアまつり ……社会福祉協議会のイベントに生徒が模擬店の企画、出店(たこせん・ハッシュドポテト)した。
- ・ふれあい給食 ……ボランティアセンターからの依頼で一人暮らし高齢者に配布するお弁当掛け紙を生徒がデザイン
- ・おばけ大会 ……長年継続中の当該大会に中学生も実行委員として参加(事前準備と当日おばけ役や運営に関わる)
- ・クリスマスパーティー…中学生が主体となって進める地域のイベントを…ということで、CS やまち協が関わり小学生を招待し、案内チラシ・動画の作成、ゲーム内容の決定や当日の司会進行をした。

■ 実施に当たっての工夫

- ・授業がスムーズに進むよう担当教師やボランティア講師と随時連絡を取り合った。
(ミシンの点検・書写の準備、後片付け等も行った)
- ・地域参加のイベントに対して生徒への案内を掲示、印刷配布して周知した。
- ・ボランティアスタッフには当日の予定(クラス、場所など)が分かるよう玄関に案内板を設置した。

■ 事業の成果

- ・ボランティアまつりでは生徒が自主的に企画段階から参加し、当日は悪天候のため施設内での活動となったが楽しく地域の方や他校の生徒たちとも交流できた。
- ・読み語りと家庭科の授業支援は小中連携し、9 年間にわたる支援となっている。
- ・1 年生での「ふるさと再発見」、2 年生での「職場体験」は、地域の方の力を借りて、地域を見直す取組となっているが、今年度はさらに発表の場にお世話になった方をお招きすることで、中学生が何を学んだかが伝わり、喜んでくださった。



【 職業講話 メモを取りながら聞く生徒たち 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

年間をとらしてボランティアをしようと思う生徒を登録しておけば、その都度全校に呼びかけ、少なれば個人的に声をかける、という形ではなく、スムーズに人の確保ができるのではないかと。来年度は試行してみたい。

地域に根付く行事「おばけ大会」に続き、昨年度から「クリスマスパーティー」を学校運営協議会との協働で実施している。「自分たちが進めていく」意識をさらに育てるため、中学生に任せる部分を増やした。「昨年度楽しかったから、今年度もやりたい」と実行委員に立候補した生徒もいて、今後さらに根付かせていきたい活動である。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ☐地域連携担当教職員 ■その他(教科担当、該当学年教員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員・教頭)

つくろう！ 育もう！ 子ども・学校・ふるさとの未来

湖南省	活動名:甲西北中学校地域学校協働本部	甲西北中学校	学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成31年度 地域学校協働活動推進員等数:4人(兼務4人) ボランティア登録数:10人 ☒ 学習支援(授業補助、学力補充等) ☒ 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ☒ 学校行事支援 ☐ 子どもの安全確保、見守り ☒ 部活動支援 ☒ 学校周辺環境整備 ☐ 学びによるまちづくり ☐ 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ☒ 地域行事への参加 ☒ ボランティア・体験活動 ☐ 郷土学習 ☐ その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☒学校・園 ☒学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・学校支援のボランティアの募集方法について
- ・ボランティアの活用方法について
- ・「甲北防災フェスタ」の企画、運営について

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・朝読書の時間に地域ボランティア「本読み隊」が生徒に本の読み聞かせを行った。
- ・校区内の2つの地域まちづくり協議会や社会福祉協議会等の呼びかけに応じ、地域行事に参加した。
 - ・吹奏楽部の演奏
 - ・家庭部によるワッフル販売
 - ・ボランティア部による子どもの体験ブース運営
- ・湖南省で開催されたトレイルランに応援隊で参加し、運営の補助を行った。
- ・本校 CS、市の危機管理・防災課や防災士連絡会、また地元自治区や防災アドバイザーで実行委員会を組織し、「甲北防災フェスタ」を開催した。
- ・2年生の職場体験先の事業所の新規開拓をした。
- ・市社会福祉協議会と連携して、「心あったか おてがみプロジェクト」に取り組み、市内の高齢者に絵手紙を送った。



【 甲北防災フェスタ 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・地域学校協働本部として主体的に活動を行い、学校の負担が増えないような活動を心がけている。
- ・生徒の活動を進める上で、生徒の意見や思いを尊重し、一人ひとりの持ち味が生かせるような配慮を行っている。また、生徒の主体性を引き出し、責任をもって活動をやりきれるよう支援を行っている。
- ・今後の取組が継続的に行うことができるように、地域と生徒間のつながりをつくっている。

■ 事業の成果

- ・生徒主体の「甲北防災フェスタ」を行うことで、関わった生徒たちの防災に対する意識が深まった。また、実行委員会のメンバーであった地域のみなさんに、中学生のがんばりを認めていただけた。
- ・ボランティア部の生徒を中心に地域行事への参加が増えたことで、地域の方が中学生の取組に感心し、地域行事への参画依頼が増えている。ボランティア部員だけでなく全校生徒に呼びかけることで、地域行事に参加する生徒が増えてきた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・生徒の地域での活動が定着しているものの、一部の生徒や地域学校協働本部のメンバー、教職員での取組に留まっており、学校全体で共有できていないところがある。「地域とともにある学校」という意識を高め、誰もが自然に地域で活動できる状況をつくっていききたい。
- ・活動できるメンバー、協力していただける方を一人でも多く増やし、持続可能な取組にしていききたい。



【 菩提寺まちづくりフェア 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☒校長 ☒教頭 ☒地域連携担当教職員 ☐その他()

報告書記入者(教頭)

地域で飛躍！ 中学生ボランティアが活躍できる環境づくり

湖南省	活動名：日枝中学校地域学校協働本部	日枝中学校	学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：3人 ボランティア登録数：30人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 □子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 □郷土学習 □その他[]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

中学生が地域の行事で活動するにあたり、当日の運営だけではなく意見交換や考え・アイデアを発表できるよう事前の企画会議の段階から参加してもらった。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

《読み聞かせボランティア》

・1年生の朝の読み聞かせ…各学期に4回 合計12回実施

・図書委員会…絵本の読み聞かせアドバイス

《書道授業ボランティア》

・1年生～3年生全クラスの書道の授業で筆の動きや文字のバランス等のアドバイス

《中学生による地域イベント参加》

・水戸まちづくり協議会主催の水戸まちづくりフェスタや下田青少年育成学区民会議主催の防災ふれあいキャンプに多くの生徒が参加

■ 実施に当たっての工夫

- ・水戸まちづくりフェスタでは昨年の改善点を見直しスムーズに運営できるように話し合った。
- ・防災ふれあいキャンプでは防災について調べ、意見を出し合い、本番を想定した事前準備ができた。
- ・中学生が友だちに声を掛け合って輪を広げ、どのイベントにも多くの生徒が参加してくれた。

■ 事業の成果

《中学生の感想》

- ・小学生や地域の方と協力し、いい雰囲気で行き組めた。
- ・また次も参加したい。楽しかった。

《役員の感想》

- ・中学生が事前に準備をしてくれたからスムーズにできた。
- ・中学生が地域で活躍している姿が見られて嬉しかった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

ボランティアに参加したことがない生徒にもぜひ参加してほしい。
地域との関わりの大切さを知ってほしい。



【 防災キャンプで小学生に指導 】



【 水戸まちづくりフェスタに出店 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他()

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)